



—地域の伝統行事を共に守り、後世に伝える—

なごしのはらえしんじ れいたいさい
住吉大社 夏越祓神事・例大祭
小学校の児童が稚児として参列！

帝塚山学院小学校(大阪市住吉区帝塚山中3-10-51/校長:神原利浩)は、1916年の小学校開学以来、大阪・帝塚山の地で歩みを進めてきました。地域に根付く歴史遺産や自然文化、伝統行事に触れ、心を育む教育を日々、実践しています。その一環として、今年も2名の児童が住吉大社(大阪市住吉区住吉2丁目9-89)の例大祭に先立って行われる夏越祓神事(コロナ禍のため、規模を縮小して実施)に稚児役として参列することになりました。当日のスケジュール等、概要は下記の通りです。

<本件の概要>

- 日時：2022年7月31日(日) 13時00分～16時40分(予定)
- 場所：住吉大社 神館 (大阪市住吉区住吉2丁目9-89)
- 当日のスケジュール：13時00分 粉薫・戴盃式
15時00分 全体写真撮影
16時00分 夏越女神事
16時40分 終了予定
- 参加児童：帝塚山学院小学校2名(稚児役) ※いずれも小学6年生女子



【住吉大社 夏越祓神事について】 住吉大社HPより抜粋

大阪府指定民俗文化財である夏越祓神事は、例大祭に先立って行われるお祓いの神事。華麗に着飾った夏越女・稚児らが茅の輪をくぐる。五月殿で大祓式が行われたのち、参詣者も行列に参加して、茅を1本取り、祓いながら3度の茅の輪をくぐり本宮に参進。茅の輪をくぐる際には、「住吉の夏越の祓する人は千年のよはひのぶといふなり」という和歌を口ずさむ。第一本宮では祭典が行われ、神楽(熊野舞)や住吉踊が奉納される。

参考:住吉祭(日程:7月30日～8月1日)

大阪の夏祭りを締めくくる住吉祭は、大阪中をお祓いする「お清め」の意義があり、古来より「おはらい」とも言われている。7月海の日「神輿洗神事」、7月30日「宵宮祭」、7月31日「夏越祓神事・例大祭」、8月1日に、住吉大神の御神霊を遷した神輿が行列を仕立て、堺の宿院頓宮までお渡りする「神輿渡御」が行われる。

★取材をご希望の場合は、下記まで事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

★参加児童へのインタビューも可能です。住吉大社にも取材許可の申請を併せてお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ】

学校法人 帝塚山学院 本部事務局 総務部広報課 担当者:熨斗弓子 当日連絡先:090-6607-9069
〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51 TEL:06-6672-1954 FAX:06-6678-8797